

海洋生物シンポジウム2023

主催：日本海洋学会海洋生物学研究会

日時 | 2023年 3月 20日 (月) 9時～

場所 | 東京海洋大学白鷹館 1階講義室 / オンライン開催 (Zoom使用)

プログラム

■ 海洋生物学研究会会長挨拶 近藤 能子

■ 日本海洋学会会長挨拶 神田 穰太

■ 基調講演

※下線はオンライン発表

| 時間 | 発表者 | 演題 |
|------------|-------------|-------------------------|
| 9:10-9:40 | 和田茂樹 | 未来の海を使って生態系の将来を探る |
| 9:40-10:10 | <u>長島佳菜</u> | <u>風が吹けばプランクトンが増える？</u> |

■ 一般講演

※下線はオンライン発表

| 座長 | 時間 | 発表者 | 学生 | 演題 |
|-------|-------|-------------|----------|---|
| 平井 惇也 | 10:20 | 川上有希子 | ✓ | 北西太平洋赤道域 - 中緯度域における溶存ビタミンB12の分布 |
| | 10:35 | Jiang Qiaol | ✓ | Spatiotemporal changes in chlorophyll a concentration in the inner area of Tokyo Bay in 2016-2020 |
| | 10:50 | <u>渡邊翔</u> | <u>✓</u> | <u>赤潮指数を用いた瀬戸内海・播磨灘におけるヤコウチュウ赤潮の長期変動解析</u> |
| | 11:05 | <u>末松知宙</u> | ✓ | <u>東京湾奥部における珪藻<i>Skeletonema</i>の年間種別動態</u> |
| 有馬 大地 | 11:20 | 谷川真穂 | ✓ | 本州東方移行域でブルームを形成するサルパ類胃内容物のアンプリコンシーケンス解析 |
| | 11:35 | 江上賢悟 | ✓ | サルパ類消化管内容物を利用した微小マイクロプラスチック現場密度推定の試み |
| | 11:50 | 倉本一輝 | ✓ | 春季及び夏季北部日本海と南部オホーツク海におけるオキアミ類現存量と環境要因との関係 |
| | 12:05 | 飴井佳南子 | ✓ | 分子生物学的手法を用いた太平洋・東部インド洋におけるオヨギゴカイ科の種多様性の解明 |

12:20～13:30 昼休憩

| 座長 | 時間 | 発表者 | 学生 | 演題 |
|------|-------|----------|----|--|
| 高山佳樹 | 13:30 | 玉蟲奈佳子 | ✓ | インド洋・太平洋低緯度域における動物プランクトン群集のメタバーコーディング解析 |
| | 13:45 | ライラ笑太 | ✓ | 宮城県志津川湾での海洋酸性化・貧酸素化の現状とマガキ養殖への影響 |
| | 14:00 | 長友佑太郎 | ✓ | 太平洋・インド洋の熱帯・亜熱帯外洋域における魚類マイクロネクトンの分布と変動要因 |
| | 14:15 | Yu Zeshu | ✓ | Environmental DNA study on small pelagic fish distributional characteristics in the Kuroshio frontal |

| | | | | |
|------|-------|----------|---|---|
| 田所和明 | 14:30 | Lin Yuan | ✓ | A comparison of fish diversity in rocky reef habitat by multi-mesh gillnets and environmental DNA |
| | 14:45 | 船木千帆 | ✓ | 混合栄養性渦鞭毛藻 <i>Prorocentrum cf. balticum</i> の温度と光強度に対する増殖応答 |
| | 15:00 | 宮本祐成 | ✓ | 東部南太平洋における浮遊性有孔虫の鉛直分布と海洋構造 |
| | 15:15 | 佐藤拓哉 | ✓ | 微小動物プランクトンの摂餌が黒潮域の従属栄養性窒素固定細菌 γ -24774A11 分布に与える影響 |
| | 15:30 | 森本恭世 | ✓ | 北海道寿都におけるマイクロプランクトン群集の季節および経年変化 |

15:45~16:00 休憩

| | | | | |
|------|-------|-------|--|--|
| 増田貴子 | 16:00 | 高木悠花 | | 浮遊性有孔虫 - 藻類共生系の特異性と進化 |
| | 16:15 | 伊佐田智規 | | 亜寒帯域のアマモ場におけるブルーカーボン貯蔵経路としての透明細胞外重合物質粒子(TEP)生成過程の評価 |
| | 16:30 | 筒井英人 | | 2022年・2023年厳冬期の長崎県島原湾で観察された生物相差異の背景 |
| | 16:45 | 西内耕 | | 春季東シナ海陸棚域における <i>Calanus sinicus</i> コペポダイト5期幼生の出現状況 |

| | | | | |
|------|-------|------|--|---|
| 土屋健司 | 17:00 | 有馬大地 | | 北海道日本海における <i>Metridia pacifica</i> の季節・経年変動と春季の突出した個体数 |
| | 17:15 | 高山佳樹 | | カイアシ類培養における繊毛虫の餌料価値とは？ |
| | 17:30 | 山口篤 | | 北部北太平洋に優占する大型浮遊性カイアシ類3種の成長率に及ぼす水温の影響 |
| | 17:45 | 仲村康秀 | | 単細胞動物プランクトン(ファエオダリア類)の生活史解明と「リザリアライダー」現象 |

18:00~ 閉会式・学生優秀発表賞表彰

基調講演

和田茂樹（わだしげき）

筑波大学 下田臨海実験センター

■タイトル

未来の海を使って生態系の将来を探る

■内容

CO₂の増加に伴う全球規模の環境変動は、海洋生態系に甚大な影響を及ぼす。本講演では、「仮想的な未来の海」とも呼ばれる高CO₂環境を利用し海洋生態系の将来予測に関して得られた成果を紹介する。



長島佳菜（ながしまかな）

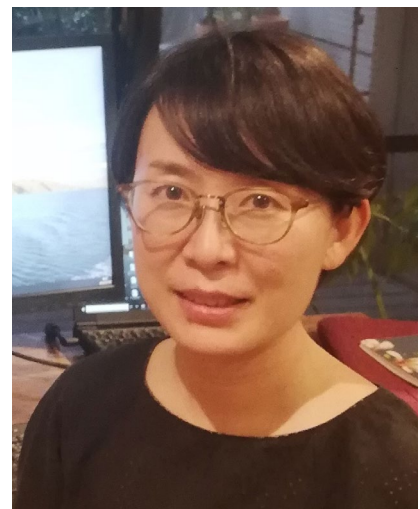
海洋研究開発機構 地球環境変動領域

■タイトル

風が吹けばプランクトンが増える？

■内容

西部北太平洋亜寒帯域は、夏場の海水中の鉄の不足が海洋植物プランクトンの生産を規定している、いわゆる High Nutrient Low Chlorophyll(HNLC)海域である。ここでは、その貴重な鉄が「いつ」「どこから」「どれだけ」輸送されているのか、また「今後は増えるのか減るのか」という謎に迫る。特に、鉄の供給源の一つである、東アジアの砂漠で発生するダストに注目し、陸域・大気・海洋の繋がり～風が吹けばプランクトンが増える～を最新の研究成果と共に紹介する。



一般講演発表者リスト

川上有希子・近藤能子・高谷智裕・和田実・鈴木利一

北西太平洋赤道域 - 中緯度域における溶存ビタミンB12の分布

**Qiaoli Jiang・Yo Ueno・Ryo Hidaka・Kenta Nishiyama・Saori Yasui-Tamura・
Fuminori Hashihama・Maiko Kagami・Toshiya Katano**

Spatiotemporal changes in chlorophyll a concentration in the inner area of Tokyo Bay in 2016-2020

渡邊翔・中國正寿・山口一岩・一見和彦・石塚正秀・多田邦尚

赤潮指数を用いた瀬戸内海・播磨灘におけるヤコウチュウ赤潮の長期変動解析

末松知宙・片野俊也

東京湾奥部における珪藻 *Skeletonema* の年間種別動態

谷川真穂・宮本洋臣・富士泰期・巢山哲・佐藤拓哉・塩崎拓平・平井惇也・児玉武稔・高橋一生

本州東方移行域でブルームを形成するサルパ類胃内容物のアンプリコンシーケンス解析

江上賢悟・宮園健太郎・山下麗・若林香織・児玉武稔・高橋一生

サルパ類消化管内容物を利用した微小マイクロプラスチック現場密度推定の試み

倉本一輝・中川至純・西野康人・谷内由貴子・葛西広海

春季及び夏季北部日本海と南部オホーツク海におけるオキアミ類現存量と環境要因との関係

飴井佳南子・平井惇也・西部裕一郎

分子生物学的手法を用いた太平洋・東部インド洋におけるオヨギゴカイ科の種多様性の解明

玉蟲奈佳子・平井惇也・大西拓也・周凡煜・津田敦

インド洋・太平洋低緯度域における動物プランクトン群集のメタバーコーディング解析

ライラ笑太・栗原晴子・坂巻隆史・中村隆志

宮城県志津川湾での海洋酸性化・貧酸素化の現状とマガキ養殖への影響

長友佑太郎・堀井幸子・平井惇也・大南あかり・佐藤拓哉・橋濱史典・小川浩史・村田昌彦・児玉武稔・高橋一生

太平洋・インド洋の熱帯・亜熱帯外洋域における魚類マイクロネクトンの分布と変動要因

Zeshu Yu・Shin-ichi Ito・Marty Kwok-Shing Wong・Jun Inoue・Sk. Istiaque Ahemd・

Tomihiko Higuchi・Susumu Hyodo・Sachihiko Itoh・Kosei Komatsu・Hiroaki Saito

Environmental DNA study on small pelagic fish distributional characteristics in the Kuroshio frontal region

Yuan Lin・Jun Li・Zhenhua Wang・Shouyu Zhang・Kai Wang・Xunmeng Li・Shin-ichi Ito

A comparison of fish diversity in rocky reef habitat by multi-mesh gillnets and environmental DNA metabarcoding

船木千帆・Wai Mun Lum・桑田向陽・高橋和也・増田貴子・片山智代・児玉武稔・岩滝光儀・高橋一生

混合栄養性渦鞭毛藻 *Prorocentrum* cf. *balticum* の温度と光強度に対する増殖応答

宮本祐成・高木悠花

東部南太平洋における浮遊性有孔虫の鉛直分布と海洋構造

佐藤拓哉・塩崎拓平・瀬藤聡・日高清隆・寒川清佳・山口珠葉・児玉武稔・高橋一生

微小動物プランクトンの摂餌が黒潮域の従属栄養性窒素固定細菌 γ -24774A11 分布に与える影響

森本恭世・濱尾優介・山崎友資・豊指祥子・脇田昌英・松野孝平

北海道寿都におけるマイクロプランクトン群集の季節および経年変化

高木悠花・仲村康秀・齋藤宏明

浮遊性有孔虫－藻類共生系の特異性と進化

川島有貴・野坂裕一・芳村毅・伊佐田智規

亜寒帯域のアマモ場におけるブルーカーボン貯蔵経路としての透明細胞外重合物質粒子(TEP)生成過程の評価

山脇信博・筒井英人・桑野和可・鈴木利一・合澤格・保科草太・丸山祐豊・木下宰・森井康宏

2022年・2023年厳冬期の長崎県島原湾で観察された生物相差異の背景

西内耕・北島聡

春季東シナ海陸棚域における *Calanus sinicus* コペポダイト5期幼生の出現状況

有馬大地・嶋田宏・浅見大樹

北海道日本海における *Metridia pacifica* の季節・経年変動と春季の突出した個体数

高山佳樹・山崎泰誠・吉水翔・戸田龍樹

カイアシ類培養における繊毛虫の餌料価値とは？

寺岡拓未・松野孝平・山口篤

北部北太平洋に優占する大型浮遊性カイアシ類3種の成長率に及ぼす水温の影響

仲村康秀・齋藤暢宏・加山藍子・堀利栄

単細胞動物プランクトン（ファエオダリア類）の生活史解明と「リザリアライダー」現象